

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

平成28年度から、当ケアプラザの担当エリアは舞岡連合町内会及び柏尾連合町内会（それぞれ全域）となりました。【下記のデータは平成28年3月31日現在】

戸塚区全域の高齢化率（24.0%）と比べ、南舞岡は35.9%、上柏尾29.0%と高い数値となっています。この2つの地区はケアプラザからの距離が遠く、かつバス路線1本でアクセスできる位置関係でもないため、28年度は積極的に訪問や出張講座等を行いました。特に今後10年間で一気に後期高齢者が増加する南舞岡一～四丁目（当該地域の65歳～74歳人口は約900名）については、28年度から新たに担当エリアに加わったということもあり、地域のキーパーソン（自治会町内会や民児協など）との関係構築を図ったり、インフォーマルサービスやボランティアグループなどとの連携を進めてきました。

生活支援体制整備については、生活支援コーディネーターと地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーターが密接に連携し、「地域ケア会議」「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」「地域ケアプラザ運営協議会」等の既存の会議を活用させていただきながら、地域の情報や課題の整理を行いました。次年度以降は、舞岡地区・柏尾地区それぞれの「強み」や「魅力」に着目し、具体的な取組を検討していくこととします。

両地区は、ともに地域住民の活動が盛んであり、生活支援体制整備に向けては、多くの可能性を秘めた地域であると思われます。今後も区役所・区社協（第1層生活支援コーディネーター）とも協議を重ね、チームとして地域と関われるように心がけていきます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

高齢者・障害者・乳幼児等、ケアプラザは様々な方が利用される施設があるため、安全確保を最優先するとともに、快適に利用していただけるように保守点検、清掃、衛生管理に努めました。

開所後16年が経過した為、経年劣化による修繕等も増えましたが、迅速に区役所相談し、適切に対応しました。

また当ケアプラザには、緑豊かな庭が敷地内にあるため、近隣の方々や放課後の子ども達が遊びに来るなど、地域に親しまれた施設になっています。この環境を維持するために、28年度も年2回貸室利用者や地域の皆様のご協力を賜り、「草取りボランティア」活動を行いました。この活動は、利用者や地域の方々にとってケアプラザが「自分たちの施設」として認識していただける機会ともなっています。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザの労務、経理等の事務処理については法人本部での一括処理など、業務や役割の分担・連携を図りながら事務の効率化に努めました。また建物管理、保守業者の選定にあたっては、経理規程に従い電子入札の導入も行っており、経費の適正化を図っています。その中で、市内の中小企業へ優先発注も行いました。

ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則・苦情対応マニュアルを作成しており、それに基づきケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望等に迅速に対応しました。また、法人では、公正中立の立場からあっせん調整を行う第三者委員も設置しており、適切な苦情解決にむけての体制を整備しています。

これまで同様に「ご意見箱」を館内に設置しており、いただいたご意見への回答を館内に掲示しました。お客様アンケートについては広報誌等でも結果を公開しています。

28年度も接客マナー研修を実施するとともに、法人内の他施設に寄せられた苦情も含め情報共有しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザの各種事業を実施していく上では、救急や事故、災害、情報セキュリティなど様々な場面で適切な対応が求められますが、いつでも、誰でも関係先への連絡や判断ができるように、手順を1冊のファイルにまとめています。

法人全体でもBCP（事業継続計画）や防災マニュアルの見直しを行い、ケアプラザ単位でも危険個所のチェック等を行いました。

28年度も地震、火災等を想定した避難訓練を年6回実施しました。また地域の防災訓練に参加する等、緊急時の対応について地域との連携も重視しています。

オ 事故防止への取組について

ヒヤリハットの検討により、事故の未然防止に努めました。また、法人本部に集約された他施設の事故事例について、各ケアプラザでの会議等で周知したり、事故防止マニュアルの改訂などにも取り組んでいます。職場において危機管理意識の低下がないように、研修等も行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

ケアプラザでは、個人情報を扱う機会が多いため、個人情報保護規程で基本的なルールを定め、研修等で周知徹底を図りました。個人情報の持ち出しについては、個人情報専用のバックを導入しています。

FAX誤送信及び郵送の誤送付、通所介護における誤配付の予防については、ダブルチェック体制をとり、細心の注意を払っています。広報等において個人が特定されるおそれのある記載については、必ず書面と口頭で同意をいただいてから掲載しました。また、個人情報の重要性については、新人のみならず現任職員に対しても、研修や日々のミーティングなどを通して緊張感が薄れることのないように徹底しました。

キ 情報公開への取組について

ケアプラザにおいて情報開示請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り対応します（28年度に請求はなし）。また、パンフレットや法人ホームページ等を通して、当法人の情報や各種事業に関する情報などを幅広く市民の方へ提供しています。28年度は、当ケアプラザのホームページの更新も頻繁に行い、特に若年層への情報提供に力を入れました。

ク 人権啓発への取組について

法人において全職員対象の人権研修を、28年度も実施しました（「ハンセン病を生きて」平成28年6月29日開催）。また、職場においても、非常勤職員も対象とした人権に関する研修を行いました（平成28年4月28日）。

ケ 環境等への配慮及び取組について

28年度も「ヨコハマ3R夢」に則り、省エネルギー対策、ごみの減量化などを推進し、節電・節水にも取り組みました。また地域のボランティアの皆様にご協力をいただき、施設の植栽管理を実施しました（年2回）。この活動により、地域の皆様に「自分たちの施設」であることが、広まっています。

横浜市の施策の一環である太陽光パネルを設置していただいております。緊急時の電力供給のほか平時の省エネにも活用させていただきました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（管理者） 1名、社会福祉士 2名、主任ケアマネジャー1名、介護支援専門員（非常勤専任 1名、非常勤兼務 1名）

《目標》

一人ひとりの心身の状況や環境に応じて、お客様と計画作成者がともに目標に向けて取り組むことを大切にし、きめ細やかに対応しました。その中で、日常生活支援・総合事業や地域のインフォーマルサービス等の把握と育成にも取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険のみに頼らない地域の力（インフォーマルサービス等）を活かした介護予防プランを作成しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
135	140	146	146	140	146
10月	11月	12月	1月	2月	3月
147	146	146	140	143	142

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

主任ケアマネジャー（管理者）1名、ケアマネジャー3名（常勤専従2名、非常勤兼務1名）

《目標》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域の社会資源（インフォーマルサービス含む）とも連携したケアプランの作成を行いました。また地域包括支援センターと密に連携し、地域ケア会議などを通してお客様の住む町の課題や強みを把握しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として24時間連絡がとれる体制となっています。また法人内での研修体制も整備されており、適切で質の高いケアプランを作成しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
128.5	129.5	129	128	123	121
10月	11月	12月	1月	2月	3月
118	121.5	126	124	126	131.5

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

通所介護計画書等の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、個別機能訓練、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1) 692円
 (要介護2) 817円
 (要介護3) 947円
 (要介護4) 1,077円
 (要介護5) 1,206円

● 食費負担

700円

● 入浴介助加算 54円 ● 個別機能訓練加算 60円 ● 口腔機能訓練加算 161円

● サービス提供体制加算(Ⅱ) 7円

● 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 1か月のご利用単位数の1000分の40に相当する額

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:10～ 16:15

《職員体制》

管理者1名(常勤兼務) 生活相談員4名(常勤兼務) 看護職員5名(非常勤兼務)
 介護職員23名(非常勤兼務) 調理員5名(非常勤兼務) 運転手7名(非常勤兼務)

《目標》

個別機能訓練や認知症予防プログラム等を充実させ、お客様が選択できるような多様なサークル活動も活発に行い、お客様満足度の高いサービスを実施しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、認知症予防プログラム、各種サークル活動等の充実、美味しいと評判の食事、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。法人独自の取組として、外出の際の急変時やご自宅が分からなくなってしまう場合の対策として、「ちゅーりっぷホルダー」を全てのお客様へお渡ししました。

《利用者実績(延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
747	812	800	789	750	726
10月	11月	12月	1月	2月	3月
702	629	665	641	630	751

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

予防通所介護計画書等の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、運動器機能訓練、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（月額）

（要支援1） 1,766円

（要支援2） 3,621円

● 食費負担 700円

● 運動器機能訓練加算 242円 ● 口腔機能向上 161円

● サービス提供体制加算（Ⅱ）（要支援1）26円（要支援2）52円

● 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）1か月のご利用単位数の1000分の40に相当する額

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:10 ~ 16:15（提供時間内で個別に必要な時間を設定）

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）生活相談員4名（常勤兼務）看護職員5名（非常勤兼務）

介護職員23名（非常勤兼務）調理員5名（非常勤兼務）運転手7名（非常勤兼務）

《目標》

お客様満足度の高い自立に向けたサービスを提供するために、また「いつまでも社会の一員としてその人らしく」お暮しいただけるように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、認知症予防プログラム、各種サークル活動等の充実、美味しいと評判の昼食、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。法人独自の取組として、外出時の急変やご自宅が分からなくなってしまう場合への対策として、「ちゅーりっぷホルダー」をお客様全員へお渡ししました。

《利用者実績（述べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
135	135	145	135	127	136
10月	11月	12月	1月	2月	3月
137	137	134	122	104	130

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

認知症対応型通所介護計画書等の作成、生活相談、機能訓練、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の把握、送迎、食事、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 1,072円

（要介護2） 1,188円

（要介護3） 1,305円

（要介護4） 1,422円

（要介護5） 1,539円

● 食費負担 700円

● 個別機能訓練加算 30円 ● 口腔機能訓練加算 164円 ● 入浴介助 55円

● サービス提供体制加算（I）13円

● 介護職員処遇改善加算（I）1か月のご利用単位数の1000分の104に相当する額

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）生活相談員3名（常勤兼務）看護職員5名（非常勤兼務）
介護職員23名（非常勤兼務）調理員5名（非常勤兼務）運転手7名（非常勤兼務）

《目標》

個別計画に基づいた機能訓練、お客様が選択できるような多様なサークル活動を充実させました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

認知症に対応した様々なプログラムや少人数ならではの生活機能訓練を実施しました。法人独自の取組として、外出の際の急変時やご自宅が分からなくなってしまう場合の対策として、「ちゅーりっぷホルダー」をお客様全員へお渡ししました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
214	212	206	217	198	209
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	185	196	186	175	198

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	15,047	26,156	151	0	0				5,339
	介護保険収入	0	0	0	0	22,169	78,369	6,702	36,507	0
	その他									
	介護予防ケアマネジメント費				9,713	0				0
	受託事業収益(市町村)	112				0				0
	受託事業収益(その他)	89				0				0
	その他	210	57			287	7,913			0
収入合計(A)	15,458	26,213	151	9,713	22,455	86,282	6,702	36,507	5,339	
支出	人件費	12,215	25,647		3,025	22,518	64,390		21,502	3,871
	事務費	1,847	2,068		5,286	2,004	8,381		1,886	
	事業費	2,883	734	148	0	43	14,699		3,637	41
	管理費	1,352	360		0	0	773		232	
	その他									
	利用者等外給食費支出						419			
	利用者負担軽減						14			
その他(繰入金等)				1,402		1,468		4,550	1,426	
支出合計(B)	18,297	28,809	148,133	9,713	24,565	90,144	31,807	5,338		
収支 (A) - (B)	-2,839	-2,596	-147,982	0	-2,110	2,840	4,700	1		

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ふれあいサロン	概ね65歳以上	178,401	124,901	53,500	47,889	62,328	68,184
	40名						
	100～300円						
童唱会	概ね65歳以上	53,389	1,889	51,500	40,092	3,865	9,432
	40名						
	100円						
まいまいクラブ	未就園児と保護者	88,046	66,746	21,300	81,368		6,678
	20組						
	～300円						
草取りボランティア	地域・登録団体	27,584	27,584			7,414	20,170
	50名						
	—						
舞柏ケアプラザまつり	一般	27,369	12,869	14,500		17,019	10,350
	—						
	一部参加費50円						
ブルーライト体操	一般	4,428	4,428				4,428
	20名						
	—						
学び場	小学生	53,487	24,387	29,100	13,000	35,267	5,220
	20名						
	200～300円						
施設交流会	地域の作業所等	1,329	1,329			321	1,008
	30名程度						
	—						
子どもフェスティバル	エリア内の子ども	30,484	7,621	22,863	10,000	18,244	2,240
	—						
	一部参加費あり						
ベビーマッサージ	3～7か月の乳児と保護者	8,672	3,072	5,600	2,784	5,600	288
	8組						
	800円						
ボランティア交流会	ボランティア	16,125	16,125			16,125	
	—						
	—						
あおぞら会	概ね65歳以上	29,629	5,779	23,850		15,689	13,940
	20名						
	50円						
		518,943					

平成28年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン	概ね65歳以上の方を対象にしたサロン月替わりにイベントを実施し、地域住民同士の交流、つながりづくりを図った。	毎月第4土曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン ～童国会～	概ね65歳以上の方を対象としたサロン。皆で集り、歌を通して地域住民同士の交流を図った。また声を出して歌うことで介護予防も目的にしている。 前半は唱歌や童謡を合唱し、後半は講師による演奏会や地域団体の音楽鑑賞を行った。	毎月第1水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まいまいクラブ	親と子のふれあい、親同士の情報交換、仲間づくりなど場を提供した。子育て支援事業への参加案内等も行い、子育てに関する情報発信の場とした。 偶数月にはイベント（バルーンアート、ベビーヨガ、リトミック等）を行い、奇数月は自由遊びと読み聞かせを行った。	原則毎月第1木曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
草取りボランティア	ケアプラザを利用する地域や貸室利用団体等からボランティアを募り、敷地内の草取りや庭木の剪定などを実施した。終了後に貸室団体である「舞柏亭」の協力で、手作りうどんの会食も行い、地域住民同士の交流も図った。	5月、11月 (計2回)

平成28年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
舞柏ケアプラザ まつり	模擬店、各種イベント、展示等を行った。地域の幅広い世代の方々、団体に参加していただき、ケアプラザのPRにもつなげた（約1000名来場）。	6月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ブルーライト体操	当法人のオリジナル介護予防体操「チューリップ体操（ブルーライト体操）」を知っていただき、地域の皆様が自主的に行っていただくことを目的に開催した。	毎月2回 （計24回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学び場	未就学児～小学生を対象に体験型のイベントを開催し、地域の大人が講師となって各種教室（木工・うどん打ち・革細工）を開催した。	7月、8月、1月（計3回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設交流会	地域の作業所との共催。当事者の他、地域の方を招いたイベントを実施。当事者と地域住民との交流を通じて、障害の理解にもつなげた（芋煮会、コンサート、AED講習など）。	8月、11月、2月 （計3回）

平成28年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもフェスティバル	エリア内の主任児童委員が主体となり、子どもが主役のフェスティバルを開催（28年度で10回目）。近隣の明治学院大学の学生の協力や、おもしろ科学体験、子どもたちのステージコーナーなど。	11月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	保護者と赤ちゃんの深いアタッチメントを形成するきっかけづくりを目的に開催。また同世代の子を持つ親同士の交流を通じて、子育ての不安や孤独を軽減することも目的とした。	9月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザや地域でボランティア活動を行っている方を対象に、各々のボランティア活動の紹介や、意見交換を行った。またボランティア同士の交流を図るため、高齢者疑似体験や福祉用具体験などを協働して行っていただいた。	9月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら会	3 A（あかるく、あたまを使って、あきらめない）方式の介護予防事業。地域のボランティアが中心となり、体操やゲーム、太鼓の演奏などに挑戦し、ケアプラザまつりや地区センターまつりで披露した。	毎月第2第4火曜日 （全24回）

平成28年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとサロン	ケアマネジャー向けの研修や事例検討会を開催した。気軽に立ち寄れるサロン形式で実施している。	計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	実際に介護されている方（同居・別居問わず）を対象としたつどい。情報提供や介護者同士の交流、セルフケアなどを目的として開催した。	計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花りんの木の下で	エリア内のワーカーズコレクティブ「まいそる」と共催。デイサービスエリアを地域に開放し、上柏尾地区でのサロンを立ち上げた。	月1回（全12回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイまいか塾	「自分らしく生きるために 家族のために」をテーマに開催している勉強会。認知症サポーター養成講座、生前整理についてなど、介護や医療、権利擁護など様々な内容で開催した。	7回開催

平成28年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
居介支連絡会	エリア内の居宅介護支援事業所を対象とした連絡会。民生委員とケアマネジャーの交流会も行った。	2月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数